

上場制度整備懇談会
第 29 回 議事要旨

1. 日時：平成 22 年 3 月 24 日（水）午前 10 時 00 分から正午まで
2. 場所：東京証券取引所会議室
3. 議題：
 - (1) 上場制度整備懇談会ディスクロージャー部会報告について
 - (2) 独立役員に期待される役割について
 - (3) 子会社上場のあり方について
 - (4) 「上場制度整備の実行計画 2009（具体策の実施に向け検討を進める事項）」に関する審議のとりまとめ案について
4. 議事要旨：
 - (1) 上場制度整備懇談会ディスクロージャー部会報告について
 - ・ 四半期決算短信について、画一的なものでなく、柔軟な対応をするということは、いいことだと思うが、決算発表までの所要日数等のデータの集計は、引き続き行うべきである。
 - (2) 独立役員に期待される役割について
 - ・ 独立役員の趣旨として、一般株主の利益保護のために役立つという趣旨には賛成であるが、会社の役員が、特定の利害関係者の利益代表であるとするには違和感がある。
 - ・ 一般株主という言葉の意味について、「持分割合が少ないが故に有意な影響力を持ちえない」という要素と、「株式の売買によって変動しうる」という要素とでは、前者が基本的な要素であるため、後者を強調しすぎない方がよい。
 - ・ 日々入れ替わるような株主よりも、長期保有をしている個人株主に対しては特に配慮をしているという会社が、実態としては多いのではないか。
 - ・ 独立役員制度は、市場開設者である取引所の制度なので、一般株主が流通市場における売買によって変動しうるという観点は必要である。
 - ・ 独立役員が一般株主の声やニーズを把握するというのは、実際に日常的に個々の株主・投資家から意見を聴いて回るといったことまでをも意味するものではない。
 - ・ 株主の声や、IR で出された意見を取締役会においてフィードバックすることは大事なことだと考えており、実践している。
 - ・ 独立役員や社外取締役の役割を車のブレーキに喩えることがあるが、それよりも、仕組みとして組み込まれた安全装置の役割として捉えるのが適当なのではないか。

以上

（なお、議事要旨については、東証上場部文責による。）

- 問合せ先 -

株式会社東京証券取引所 上場部企画担当

TEL：03 - 3666 - 0141（大代表）